

## 大槌発

### 放送関連機器移設

東日本大震災後、大阪のMBS毎日放送からテレホンハイブリッド(外線電話とスタジオを結んで放送に乗せる装置)の提供を受け、大船渡の臨時災害FM局に設置していただきました。その後、大船渡はコミュニティFMへの移行に伴い新設備が整ったことから、テレホンハイブリッドを他局で活用して頂くということで、8月28日にMBSラジオの技術スタッフが来県し大槌の臨時災害FMに設置してくれました。(写真は向かって一番右がMBSの吉村康浩さん、真ん中が大槌FM代表の小向幹雄さん。)



## 大槌発

### 「三陸花ホテルはまぎく」

旧浪板観光ホテルが「三陸花ホテルはまぎく」として生まれ変わり再開しました。浪板観光ホテルは一昨年の津波で3階まで浸水し、山崎龍太郎社長と、その妹で女将の山崎緑莉さんが犠牲になりました。亡くなった山崎社長の弟の千代川茂現社長がその遺志を継いでホテル再開を目指してきました。復旧したホテルはあちこちに花が溢れる新たな装いに一新し、ホテル名は「逆境に立ち向かう」が花言葉の「はまぎく」と名付けました。町内唯一の観光ホテルということで観光復興の基軸として期待が寄せられています。(8/30 ニュースエコー)

## 山田発

### マイクロバスのプレゼント

艇庫や船が被災し、練習場の確保にも苦慮している山田高校ボート部に移動用のマイクロバスが寄贈されました。バスを贈ったのは東京・港区にある「山の手ロータリークラブ」です。震災支援として、19人乗りの中古バスをおよそ400万円で購入し寄贈したものです。山田高校ボート部は花巻市の田瀬湖に向いて練習をしています。今までのバスは製造から20年経ち、老朽化が目立っていたという事で部員たちはビックな支援に感謝しています。(8/30 ニュースエコー)



## 総合防災訓練

### 災害FM局開設・運用訓練

9月1日に行われた岩手県総合防災訓練の一環として、災害発生時に自治体が開設する災害FM局を野田村役場に開設し運用する訓練を行ない、災害対策本部から刻々と伝えられる想定被害と訓練情報を役場内からFMで放送しました。この訓練放送は野田村の全域と久慈市南部、普代村北部を中心にカーラジオで聴くことができました。



(寄稿・写真提供：一般社団法人ラジオコンソーシアム岩手)

## 大槌発

### 「定置網漁」始まる



大槌の漁業復興の夢を託され、定置網漁を行ったのは、横浜市瀬谷区民の募金で建造された「瀬谷丸」と、国際開発救難財団ファイダーによる支援を受けた「第一久美愛丸」の何れも19トンの新造船です。漁港から5キロほど沖の定置網漁場で2隻の船は「網起こし」を行い、1トン弱のゴマサバやソウダガツオなどが水揚げされました。今月下旬から始まる「秋鮭漁」とともに、地元では大きな期待を寄せています。(9/2 ニュースエコー)

## 陸前高田発

### さんりく元気ラジオ!

今週は陸前高田災害FMの阿部裕美さんが、NPO法人「総型りくぜんたかた」の戸羽理智さんと一緒に、今月29日に行われる「陸前高田まるごと運動会」について伝えてくれました。このNPO法人は、「誰でも、いつでも集える場、機会を作りたい」というコンセプトの下、活動している市民団体です。今回の運動会では、玉入れなどポピュラーなものを始めいろいろ企画しており、仮設住宅などに住み、なかなか体を動かす機会のない方たちにも参加を呼びかけ、いわば「市民運動会」にしたいと話していました。(9/4)



「IBC復興支援室だより」facebookでも発信中  
詳細はIBC公式サイトから <http://www.ibc.co.jp/>  
IBC復興支援室事務局 019-623-3122